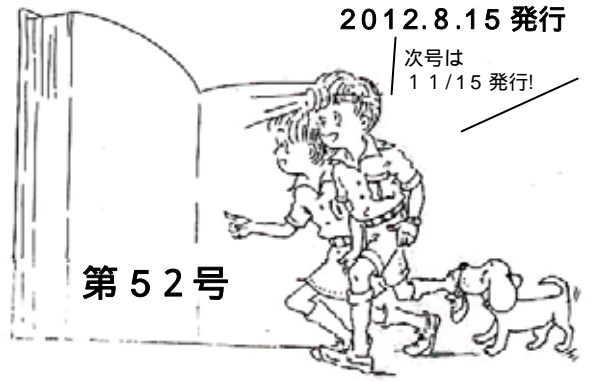


にのみやまちとしょかん 図書館だより

第52号



特集 のぞいてみよう! 展示ケース

2階の奥にある展示ケースをご存知ですか。特別コレクションや二宮ゆかりの人物などの関連資料をより詳しく紹介するために設置された、0.9m×1.8m、高さ1.1mの木枠のガラスケースです。2005年10月から展示を開始して、今年で8年目になります。3ヶ月ごとに内容の入替を行っており、図書資料だけでなく期間中借用の貴重な関連資料なども展示しています。今回の特集では、今まで行ってきた展示ケースでの展示内容と、2012年8月現在展示中の「戦争そして復興へ」について紹介します。図書館にお越しの際は是非ご覧ください。

展示期間	展示テーマ	主な展示物	展示期間	展示テーマ	主な展示物
2005. 10~12	特別コレクション 柴野拓美・山川方夫	特別コレクション 作品紹介	2009. 4~6	宇山雄二	「純正小説論」直筆原稿 祝賀会写真
2006. 1~3	林芙美子・杉田つる	新聞連載小説 「うず潮」挿し絵	7~9	疎開と二宮	疎開者の作品
4~6	特別コレクション 原石鼎	石鼎短冊(句) " (画)	10~12	伊達時	江戸時代からの処方箋 伊達日記(伊達家所蔵)
7~9	高木敏子と ガラスのうさぎ像	高木敏子サイン本	2010. 1~3	二宮とダダの作家たち ~無想庵・新吉とその周辺~	リイ「ダダイズム」特集 高橋新吉全集
10~12	市川三升(十代目市川團十郎) 「きのね」宮尾登美子より	市川團十郎系図	4~6	特別コレクション 山川方夫生誕80年	邸内写真 設計図面
2007. 1~3	窪田空穂	窪田空穂全集より 「二宮の海岸」	7~9	特別コレクション 柴野拓美氏を偲んで	直筆原稿 折紙 カルタ賞置物 SFバッジ
4~6	津田信	山川方夫 葉書 吉村昭・立原正秋書簡	10~12	特別コレクション 山川方夫生誕80年 PART2	パネル「山川方夫と 親しい友人たち」
7~9	梅田晴夫	梅田晴夫肖像写真 脚本選集	2011. 1~3	山川秀峰	切手「序の舞」 日本画「蛭」
10~12	阿川弘之	『なかよし特急』 塩崎写真(蘇峰と共に)	4~6	園田孝吉	二宮別荘と男爵の写真 十五銀行のメダル
2008. 1~3	塩崎彦市	川田順 葉書 棟方志功 書簡	7~9	語られた二宮の戦争	戦争の記録 学業日誌
4~6	羽仁もと子	友情庵写真 新聞記事「仕事師列伝」	10~12	二見利節	未公開スケッチブック 「偽装の天使」
7~9	原三郎 「リボ」の果実、田中英光著より	図録『早稲田スポー ツの一世記』	2012. 1~3	園芸試験場と富樫常治	富樫常治胸像 表彰状
10~12	古田晁	『回想の古田晁』	4~6	日比翁助	日比邸写真 東京案内地図
2009. 1~3	吉田五十八	作品リスト	7~9	戦争そして復興へ	『真珠』初版本

図書館ホームページでも、地域資料のページに展示ケースでの展示一覧を公開しています。併せてご覧ください。

7月~9月の展示ケース

「二宮ゆかりの人物 戦争そして復興へ」

期間：7月4日~9月23日

内容：毎年8月に町で開催される「平和と友情のつどい」(今年度は8/5開催)にちなみ、今回のテーマは「戦争そして復興へ」です。昭和16年の開戦から、まだまだ混乱の続く中で新しい時代の息吹を感じさせる昭和25年頃までの、世相の変化などが書かれた作品等を展示しています。

展示作品：『真珠』(初版本)坂口安吾著、『杉田鶴子歌集』杉田鶴子著、『夏の葬列』山川方夫著、『めぐりあい - ガラスのうさぎと私 -』高木敏子著、『戦場は星空の彼方に - 夫の生還祈る女医の日記 -』相馬翠著など

10月~12月の展示ケースでは「二見利節」の展示を予定しています。どうぞお楽しみに!



龍沢寺付近にあった
私設天文台
(『湘南のすたるちいん昭和』より)



展示ケース
灯りもつきます

5月～7月の新着本&CD

2012年5月～2012年7月新着分より
(著編者/出版社/出版年月/請求記号)

本

『富と幸せを生む知恵 - ドラッカーも心酔した
名実業家の信条「青淵百話」 - 』
(渋沢栄一/実業之日本社/'12.4/159 ヶ)

画像
なし

金はたくさん持つな、仕事は愉快にやれ。1912年刊の渋沢栄一の著作「青淵百話」から精選して紹介。没後80年を迎える今も、多くの経営者が座右の本にしている書物の現代版です。

『出雲大社 - ムスビを授かる、神話のふるさとへ - 』
(中野晴生/JTBブリッキング/'12.4/175.9 1)

画像
なし

ムスビの神である大国主命を祭る「出雲大社」。国宝に指定されている本殿は、日本最古の建築様式で、巨大神殿だったと伝えられている。他の神社と違う参拝方法や出雲の神話も解説。

『歩いてまわる小さなニューヨーク』
(岡野ひろか/大和書房 /'12.4 / 295.3 ヲ)

画像
なし

どこまでも自由でエネルギッシュで、キラキラ輝く万華鏡のような街ニューヨーク。有名スポットから歩いていける老舗のカフェや素敵なお店の情報がいっぱい。素顔のニューヨークの魅力が詰まった一冊。

『森で過ごして学んだ101のこと』
(本山賢司/東京書籍 /'12.4/786.0 ㇿ)

画像
なし

観天望気、天然ロープの活用、便利な道具づくりから焚火料理、危険な動物たちへの対処法など、森や野で遊ぶ知恵を美しいカラーイラストと共に紹介。必要な情報が満載です。

『一旦力・セギルベエ! - 漁師・西山敏夫の相模湾 - 』
(西山敏夫/夢工房/'12.5 / 914 ニ)

画像
なし

著者は二宮町の元漁師。2010年引退するまで、漁業の傍ら「海の教室」を開催したり、郷土資料の収集に取り組んできた。本書は、古老の漁師から伝え聞いた話や自らの体験をまとめた歴史資料となる一冊。

『クローバー・レイン』
(大崎梢/ポプラ社 /'12.6 /材)

画像
なし

旬をすぎた作家の優れた原稿を目にした若手編集者の工藤。何とか本にしたいと思っても簡単に本にできない現実に直面。工藤を取り巻く人気作家、営業マン、他社の編集者なども魅力的に描かれた小説。

録音 CD (演奏者/収録時間/請求記号)

『1969』
(由紀さおり ピンク・マルティニ
/41分/290 1)

画像
なし

由紀さおりさんとアメリカのジャズグループ、ピンク・マルティニのコラボレーション・アルバム。世界20カ国以上で発売され高評価を獲得した作品です。

児童書

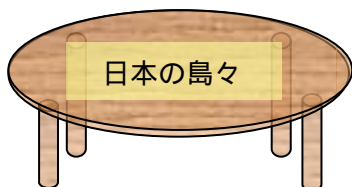
『はまべにはいしがいっぱい』
(レオ・レオニ/好学社/'12.4/E ㇿ)

画像
なし

鉛筆だけで描かれたこの絵本の作者は『スイミー』などでおなじみのレオ=レオニ。次々とイメージがわいてくる感覚が気持ちのいい絵本。1979年の再刊で、自身3冊目の絵本作品です。

展示テーブルから

8月の展示テーマ



日本の島々

画像
なし

紹介本

『地図から消えた島々 - 幻の日本領と南洋探検家たち - 』
(長谷川亮一/吉川弘文館 /'11.6/ 290.9 ㇿ)

太平洋の北西部に位置し南北に弧状列島を形成する日本は、6852の島々で成り立っています。周りを海で囲まれたことによる自然環境や文化、食習慣、ことばなど、独自の特色があり大きな魅力を持っています。今月の展示テーマは「日本の島々」です。その中から「地図から消えた島々」をご紹介します。

「疑存島」をご存知でしょうか？それは、安全な航海のために必要な水路誌や海図に記載されいながら、実在に確認が取れていない、いわば幻の島をさします。この本では、近代になって地図から消えた、日本近海の島々を取り上げ時代背景や歴史を鑑み、謎を解き明かしています。昨今国境問題で話題に上がっている尖閣諸島の開拓にも触れた一冊です。

こどものほんコーナーから

おすすめの一冊



『オーバルひとりぼっち』

画像
なし

バーバラ・クーニー
ほるぶ出版
'94.8
E ㇿ

両親のいないオーバルは、他人の家でやっかいものにされています。さびしくても心のなぐさめとなる友だちがいまいた。花や動物たち、大きな木、だいすきなひと...「はなはかげをつくってはなすのよ...」詩情にあふれる日記。5才の女の子が書いたことにおどろきました。

図書館発見 ⇨⇨⇨ こどものほんコーナー ブックトラック



スチール製のブックトラック

ブックトラックとは、本をのせて運ぶためのワゴンのようなものです。カウンターの後ろで返却された本を置いて、そのまま動かして2階などに運んでいる様子は館内では見慣れた光景かと思えます。両面のもの、傾斜のついたもの、幅の狭いものなどいろいろな形のものがあり、用途によって使い分けています。ほとんどのものは耐久性の高いスチール製ですが、こどものほんコーナーではあたたかみのある木製のものも使用しています。

そのなかで木製のブックトラックが2台、新しく登場したことに気づきでしょうか？ このブックトラックは、町内在住の増田萌さんが大学の卒業制作の作品を、図書館に寄贈してくださったものです。コーナーの雰囲気、用途、サイズなど、事前に図書館とも細かい所まで打合せし、世界に一つしかない二宮町図書館専用のブックトラックが完成しました。海や山などの二宮町が誇れる自然をイメージした明るい色使いがアクセントとなっています。側面の顔のようなマークは町のマーク(町章)がモチーフです。

こどものほんコーナーの雰囲気にぴったりのブックトラック、大切にに使わせていただきたいと思います。



寄贈のブックトラック

細部まで丁寧な作り。大型の図書もすっきり入ります！



「テトラポッド」は登録商標



ベストオーダー 2012年5月~2012年7月

この期間に予約が多かった本です

【一般書 ベスト10】

- 1 ナミヤ雑貨店の奇蹟 / 東野圭吾
- 2 サファイア / 湊かなえ
- 3 舟を編む / 三浦しをん
- 4 鍵のない夢を見る / 辻村深月
- 5 ピブリア古書堂の事件手帖3 / 三上延
- 6 母の遺産 - 新聞小説 - / 水村美苗
- 7 三匹のおっさん ふたたび / 有川浩
- 8 夜の国のクーパー / 伊坂幸太郎
- 9 P K / 伊坂幸太郎
- 10 ひなこまち / 畠中恵

二宮ゆかりの人物

すぎもと きょうた
杉本 京太(和文タイプライター発明者)

二宮町二宮の現在心泉学園の在る場所には、大正から昭和にかけて「杉本別荘」または「梅林(うめばやし)」と呼ばれた建物が建っていました。3864坪の広さの土地に建つ木造平屋の建物は、関東大震災でもビクともしない立派なものでした。向かって左側はフジヤホテルのダイニングのような応接間で、右側がタイプライター研究所となっているその建物の主が、和文タイプライターの生みの親である杉本京太です。

杉本京太(1882-1972)は、明治15年岡山県に生まれ、大阪市電信技術者養成所を修了した後、活版技術関係の仕事をしていました。当時、欧米ではタイプライターは広く使われていましたが、和文タイプライターはまだ発明されておらず、大正4年に杉本が漢字かな混じり文をキレイに印字できる和文タイプライターを初めて開発しました。

英文タイプライターは、著者自身が印字したい文字の書かれたキーを打つことでペンの代わりにきれいに印字できるものですが、文字数の多い日本語では同じ仕組みでは文字を打つことができません。杉本が開発した和文タイプライターは、平らな活字庫に並んだ約2400文字の平仮名・片仮名・漢字・記号・数字の活字を前後左右に動く一本のバーでつまみあげて、円筒に巻かれた紙に打ち付けるという全く異なるシステムです。この発明によって毛筆で書類作成をしていた事務の効率化に大きく貢献しました。

杉本はタイプライター開発後すぐに、これを製造する「日本書字機商会」という会社を作り、和文タイプライターの販売を始

め、後に日本タイプライター株式会社(現・キャンセミコンダクタエキップメント株式会社)を創設しました。和文タイプライターの誕生は社会に衝撃を与え、宮内庁をはじめとする官公庁や軍部、各企業に急速に浸透していきました。ハードウェアとしてのタイプライターの開発だけでなく、働き手としてのタイピストの養成にも杉本は力を注ぎ、やがて教育を受けたタイピストは女性の専門職となりました。

二宮に建てた別荘・研究所で、杉本はタイプライターと共にトーキー映画の研究に打ち込みました。その後伊豆に越し、晩年は小田原市に住んだとの記述もあるようですが、詳細はわからず現在調査中です。和文タイプライター自体現在ではめったに見かけなくなりましたが、当時としては画期的な大発明で、杉本は「日本のエジソン」とも呼ばれています。1985年には、特許制度百周年を記念して人選された「日本の発明家十傑」の一人に選ばれ、世界の真珠王御木本幸吉や、うまみ成分発見者池田菊苗らとともにその名を連ねています。



昭和25年頃の旧杉本別荘(玉盛家所蔵)

今回の記事を掲載するにあたり、心泉学園理事長玉盛達雄氏に大変貴重なお話を伺いました。ご協力ありがとうございました。

参考資料 『亜細亜大学経営論集』実業家としての杉本京太-大正期実業家実像の一類型』(小倉幸義/亜細亜大学経営学会/68) 『日本語大博物館 悪魔の文字と闘った人々』(紀田順一郎/ジャストシステム/94) 『日本タイプライター』(貿易之日本別冊)(貿易之日本社/77) 雑誌「月刊 News がわかる」H20.3 通巻107号(毎日新聞社/08)

お知らせ・お願い

二宮町図書館リサイクル市が終了しました

5月19日、20日の2日間で1,177名の来場があり、約4,691冊の本等をお持ち帰りいただきました。図書館基金へ合計70,320円の募金をいただきました。ご協力ありがとうございました。

特別館内整理休館のお知らせ

9月24日(月)～10月1日(月)の8日間、蔵書点検のため休館します。休館前の貸出の際、返却期限に変更がありますので、ご確認ください。休館中は、利用者の皆様には大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご協力をお願いします。

お願い 特別館内整理休館中の図書・AV資料の返却ポストへの返却はご遠慮ください。

新しい大型絵本が入りました

住民生活に光を注ぐ交付金で購入した「スイミー」「かばくん」など15冊の大型絵本(ビッグブック)を受入しました。

授乳を希望される方へ

ラディアン内での授乳ができます。希望されるかたは、職員へおたずねください。

図書館の資料は大切にしましょう

汚れや破れなどに気が付かれた方は職員へお知らせください。



行事

くわしくはお問い合わせください。

8月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

9月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

休館日

10月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

- ちいちゃいおはなし会
第2水曜日(10月は第1水曜日)
- おおきいおはなし会 小学生からおはなし会とありがとうあそび
第3土曜日
- わらべうたであそぼう!
第3金曜日(8月は第4金曜日)
- 図書館託児サービス
第3木曜日(8月は第4木曜日)

平成24年度 図書館講座 文学散歩開催について

二宮のゆかりの人物をテーマにした文学散歩(全2回)の開催を予定しています。図書館だよりで紹介した近・現代文学に関わりのあるゆかりの地を散策します。ぜひご参加ください。

講師：石井敬士氏
(元二宮町図書館アドバイザー)

開催日：11月17日(土)、24日(土)

申し込み方法や日程等の詳細につきましては、お知らせ版、館内掲示等でお知らせいたします。

展示テーマ

6月

一般 / 『世界で活躍! やまとなでしこ』
児童 / 『雨がすきです』

7月

一般 / 『イギリス』
児童 / 『なつのほん』『課題図書』
『小・中学生にすすめたい本』
A V / 『イギリス特集』

8月

一般 / 『日本の島々』
児童 / 『なつのほん』『課題図書』
『小・中学生にすすめたい本』

特設展示(5～7月)

『第147回芥川賞・直木賞発表』
『邱永漢』
『吉田秀和』
『新藤兼人』
『レイ・ブラッドベリ』

追悼展示

児童特設

『宿題(自由研究・作文等)』

地域資料展示ケース【二宮ゆかりの人物】

7～9月・・・『戦争そして復興へ』

書庫の本紹介コーナー

7～9月・・・『早逝した作家たち』

ご協力ありがとうございます

図書館基金

7月末までの累計
3,505,348円



《月別合計》

5月の金額 73,421円
6月の金額 7,567円
7月の金額 2,466円

ひとつだけ ~編集後記にかえて

台風で二宮の海岸が消滅して5年。最近海では何隻ものクレーン船が停泊し、消波ブロック(テトラポッド)を移動している。乗り物好きの子どもだったら目を輝かせること間違いなし! 大人の自分でもめったに見られない光景にワクワク...。そして何よりも、少しずつ浜が戻ってきたのが嬉しい!

編集・発行 二宮町図書館

住所 〒259-0123

二宮町二宮1240-10

☎ 0463-72-6913 FAX 0463-72-6914

ホームページ <http://www.ninomiya-public-library.jp/>

図書館だよりテープ版もあります。お問い合わせください!

『二宮ゆかりの人物
ガイドブック』
好評発売中!

